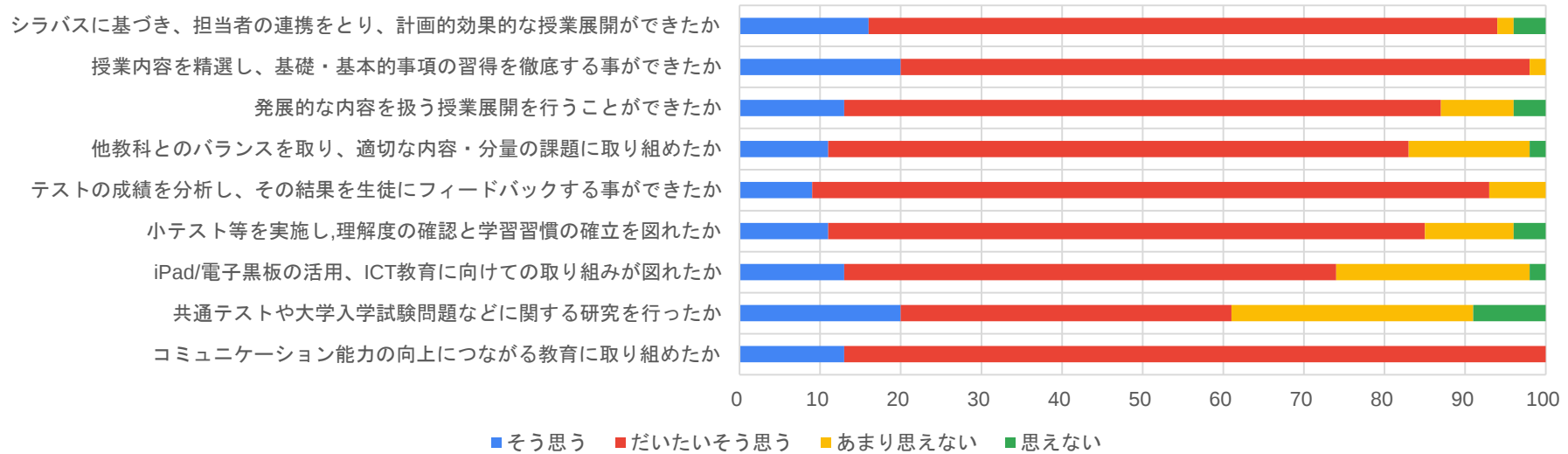


令和3(2021)年度 三田松聖高等学校・学校評価シート

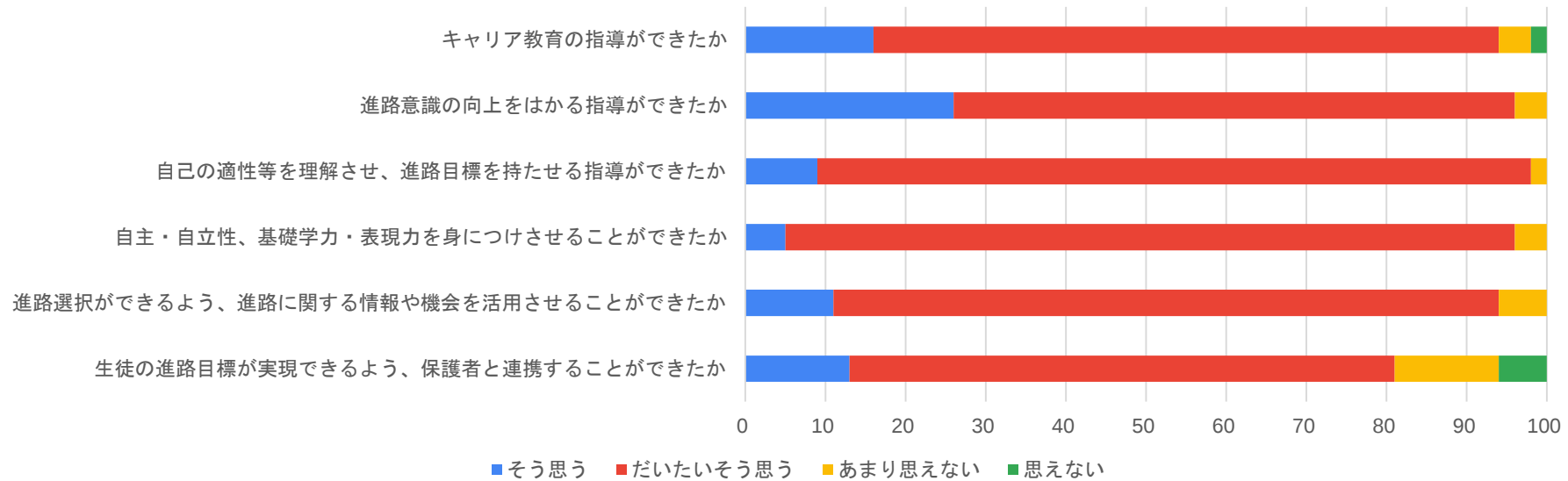
学校 教育 目標	＜基本方針＞	
	校訓「不撓不屈、和敬協調、自律自学」の信念のもと、心身を錬磨し、優れた英知と豊かな情操を備えた、清く正しく強い、社会貢献のできる青少年を育成する。	
	1.	「知・徳・体」の調和のとれた人格形成と育成を図り、生徒が生き生き・伸び伸びと活動する活発な学校づくりを推進する。
	2.	個に応じた教育活動を展開し、基礎・基本を確実に定着させ、生徒自ら主体的に判断し行動できる資質や能力の向上を推進する。
	3.	家庭や地域との密接な連携を図ることにより、社会から信頼される学校、魅力ある学校づくりを推進する。
重 点 目 標	＜学校経営の重点＞	
	「教育は人なり」である。生徒に「生きる力と学ぶ力」を身につけさせるため、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教師集団づくりを図り、生徒との信頼関係を構築し、学校のさらなる発展を目指す。	
	1.	教員とその組織の充実
		・教員の資質及び指導力向上
		・校務分掌の組織編成と役割分担の適正化
		・教員のコンプライアンス強化
	2.	学習環境と教育内容の充実
		・到達度別学習の重点的な取り組み
		・学力向上プロジェクトの推進
		・ICT教育の推進・情報教室の整備推進
		・能動型学習法の推進
		・図書室を有効活用し、生徒の学習意欲向上の推進
	3.	進路の充実
		・高大接続による「大学入試制度改革」への対策と検討
		・生徒の目標達成の支援
		・特別進学・大学進学コースでの「学力向上講座」の実施
		・進路実現に向けた「自己発見プログラム」の推進
		・短大・高校・幼学園連携である保育者育成プロジェクト「保育探究クラス」の推進
	4.	部活動の充実
		・強化指定クラブの活性化
		・必修クラブ制の検討
		・挨拶やマナーの向上、帰属意識の高揚、人間関係の構築、人格形成

教科指導に関する自己評価



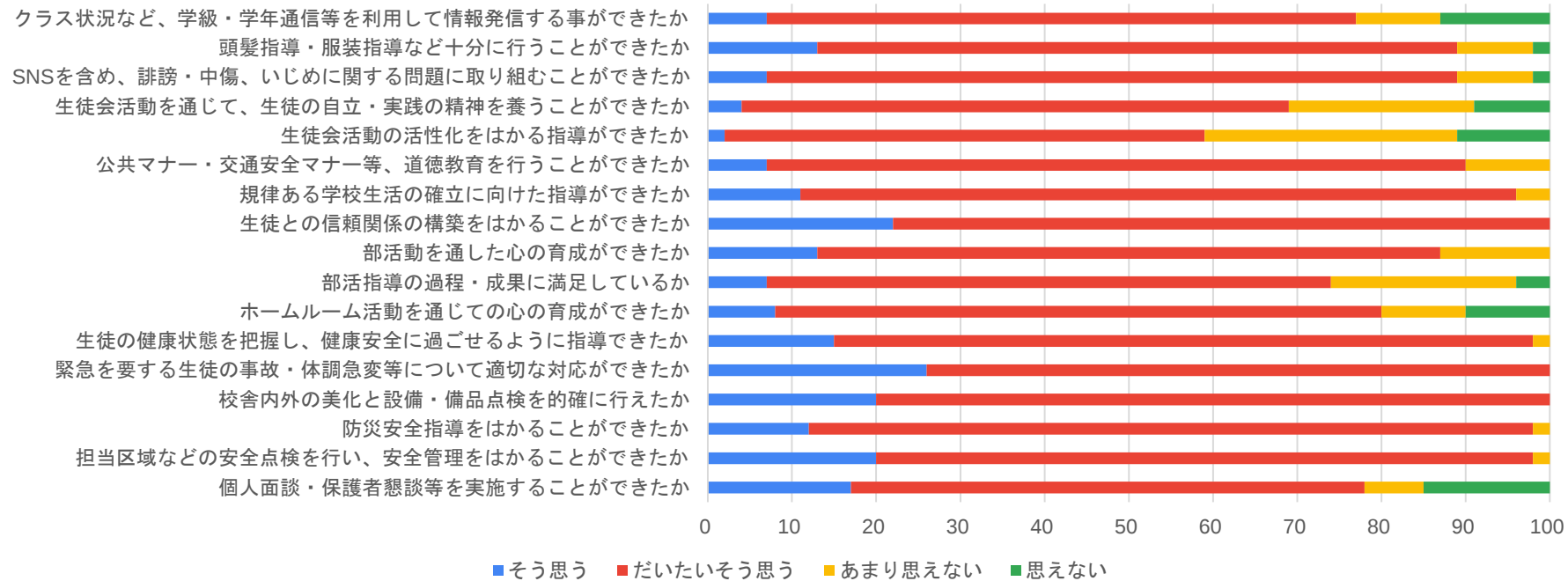
次年度への課題と改善策	学校関係者評価
ICT教育の確立と新学習指導要領実施による新しい教科指導の為の教材研究と教材選定をすすめる。 メタモジクラスルームを用いて、実験的に授業を行う機会が取れ、非常に良かった。次年度では授業内で効率よく生徒に伝わるような授業形態を作り上げたい。 タブレットの活用を今以上に積極的に行いたい。 小テストの実施回数を増やし平常の学習成果を学習評価に反映させる、定期的な確認会議を実施したい。 何を出来るようになれば良いのかということを明確にするため、そのテーマや時間内のゴールを明確にしてから展開するようにしたい。 生徒この学力に応じた課題の作成。 基礎基本を中心とした授業展開だったので、もう少し応用問題や入試問題も取り扱っていききたい。 基礎基本を中心とした授業展開だったので、もう少し応用問題や入試問題も取り扱っていききたい。	教科指導は教師の根本である。子ども達を授業力によりしっかりと導くことのできるよう、教師自身のスキルアップをどうするかが大切と考えます。 ICT教育の充実に向けた取り組みをすすめてほしい。 タブレットの活用については、生徒の意見を取り入れ進めてはどうだろうか。 コロナに翻弄された学校生活だったと思われるが、そのような中で、○コミュニケーション能力の向上につながる教育にとりくめた、○生徒との信頼関係の構築を図ることができたと先生方が感じている事は嬉しい。

進路指導に関する自己評価



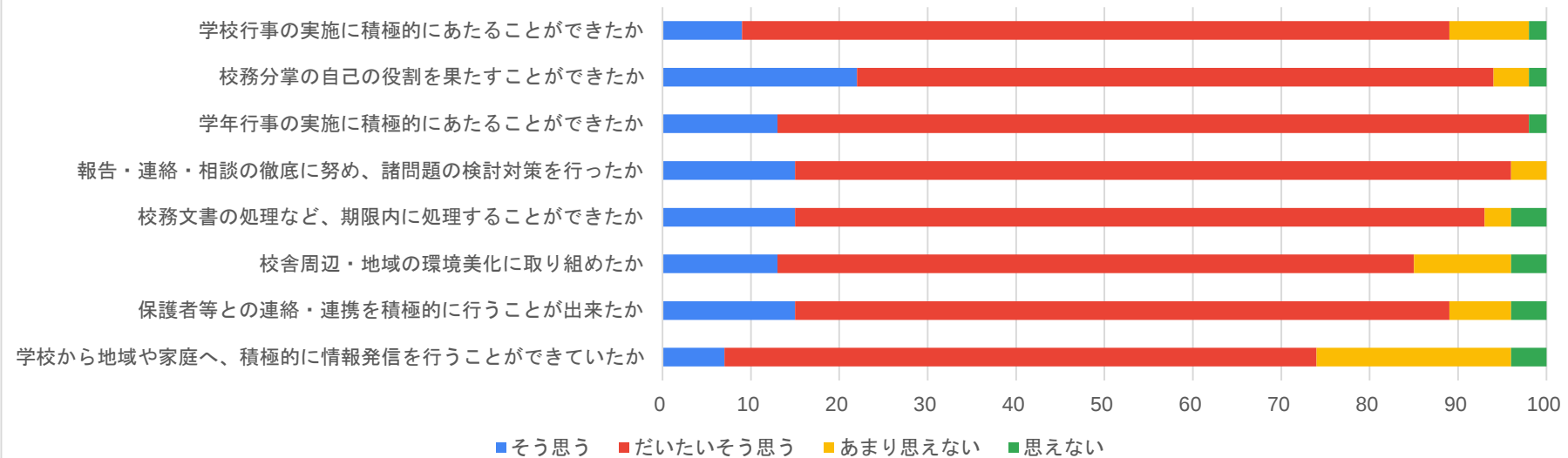
次年度への課題と改善策	学校関係者評価
模擬試験のフィードバックを十分に行い、最後までチャレンジするモチベーション維持のアシストをすることが必要。 大学進学・進学アスリート・特別進学コース向けの自己発見プログラムの計画・内容を精査し、大学進学に関する意識をさらに高める指導の工夫。 3年後にどんな自分になりたいのか、そのためにはどのような準備が必要なのか、早くから声をかけ、保護者との連絡も密に取り進めていきたい。 新教育課程にともなう入試制度への新たな対応。 生徒の興味のあることを十分理解した上で、それに合ったサポートをすすめること。(特に受験に必要な学力補充) クラスやコース全体で進学に対する意識を変えること、勉強をして当たり前という雰囲気を作る必要がある。	就職指導面も、大学進学指導同様に力を入れてもらっている。志望達成のための確かなアドバイスにつとめてほしい 学ぶことは生涯続くということを実感できるよう、指導してもらいたい。 自己発見プログラムによるキャリア教育の充実を期待したい。

生徒指導に関する自己評価



次年度への課題と改善策	学校関係者評価
全国的にも校則の見直しが進んでいる、本校も見直しを進め時代にあった校則にしていく。 コロナ禍で生徒会行事が十分に行えなかった、行事の時期・実施方法を見直して開催したい。 アスリート育成としてメンタル的要素の向上を目指していく。 SNS教育、情報モラル教育の充実をはかる。 就職指導、就職活動を通じての生き方の指導の推進。 安心安全な学校生活、学校行事が運営できるよう感染症対策・危機管理体制の見直しをすすめる。 生徒の気持ちに寄り添った指導の構築を進める。 社会に出る学びの最終段階において身近な事項をもとに理解をはかり、改善を促したい。	松聖の生徒達は学校を謳歌している印象が強い。社会の厳しさを乗り越えていく土壌はできていると思う。WEBなどのツールに頼ってしまっただけでは人間関係は希薄してしまうので。その時に松聖と他校との違いが大切となってくる。 教師が生徒に与える影響は大きい、教師自身の資質が大事であるので資質向上を図ることで学校力がつき、生徒はさらに伸びていくと考えます。 生徒指導の内容をさらに向上させ、三田松聖らしい伸び伸びとした教育を充実させ、生徒の人格形成を促してほしい。

総務的な事に関する自己評価



次年度への課題と改善策	学校関係者評価
自分の校務分掌だけでなく、他の校務分掌の仕事を理解して連携して校務をスムーズに行う ペーパーレス化の推進を行う。 校舎内外の安全チェックと美化の徹底をはかる。 生徒、保護者、地域など多くの人に学校の魅力を伝える情報発信をさらにすすめたほうが良い。ただし、リアルタイムの発信が良いかどうかは生徒の安全面などをしっかりと考えて発信してほしい。 コロナ禍で地域との連携が十分とれなかった、できることから地域との関わりを取り戻して行きたい。	日々の活動や取り組みを、ホームページ、Instagramなどを活用して広報されているので、さらに積極的に行った方がよい。 校舎周辺、地域の環境美化など地道な取り組みを継続することが大切である。 業務改善は時代の流れです、積極的にすすめてほしい。